

長岡市交通バリアフリー基本構想の基本的な方針

市では基本構想を作成する際の基本的な考え方を、次のように決めました。

- 長岡駅を中心とした重点整備地区のバリアフリー化を実施します
- 平成22年までにバリアフリー化を実施します
- 一年を通じて安全に歩ける環境を創出します
- 長岡市の実情に合った基準で整備します
- 高齢者・身体障害者等の意見を反映させます
- 関係事業者との協議により、効果的なバリアフリー化を実施します

重点整備地区

重点的なバリアフリー化を推進する地区で、特定施設と準特定施設を含むように設定してあります。

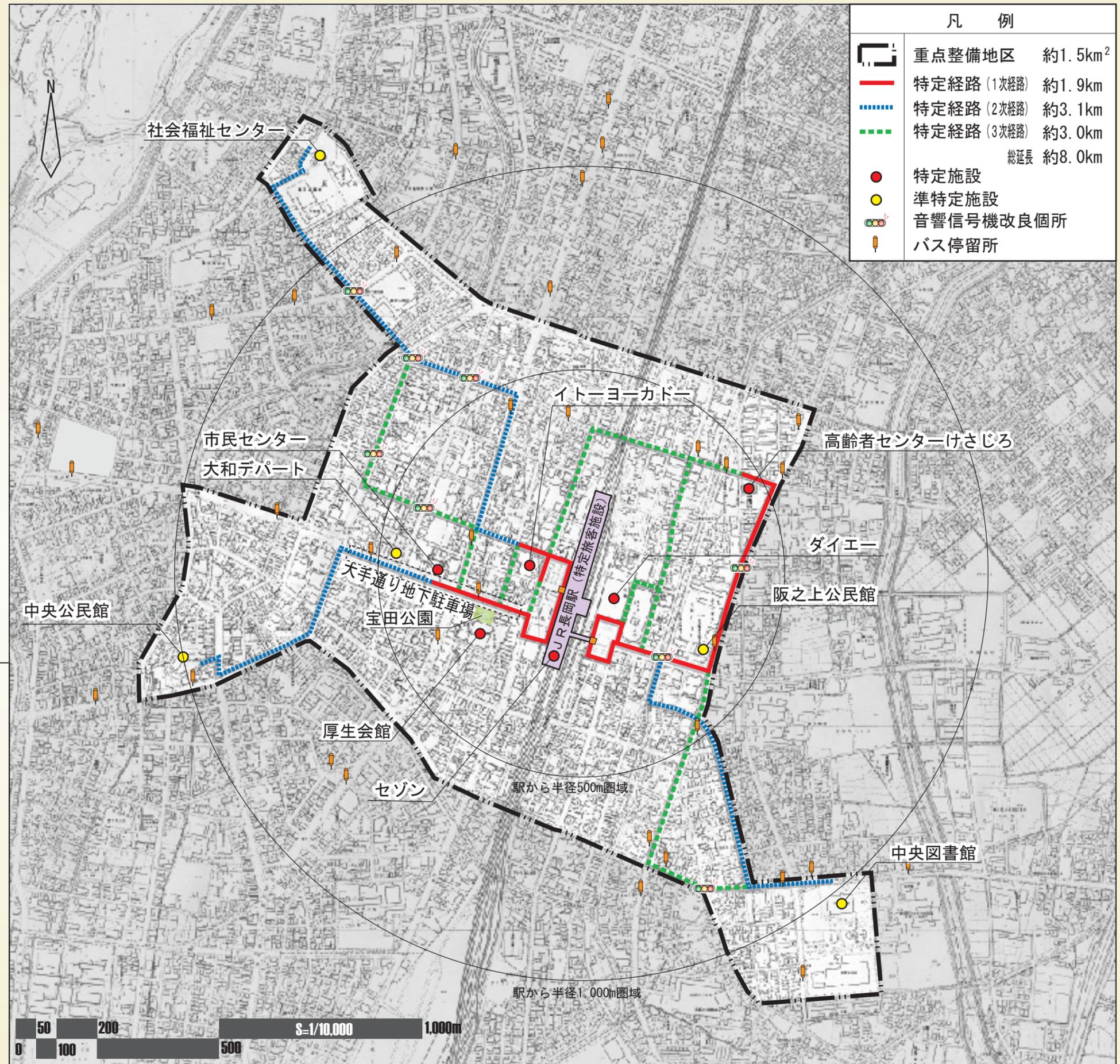
特定施設・準特定施設

アンケートで把握した利用頻度の高い施設を、特定施設として、市民センター、厚生会館、高齢者センターけさじろ、イトーヨーカドー、セゾン、ダイエーを選びました。

特定施設に準ずる施設（準特定施設）として、中央公民館、中央図書館、社会福祉センター、阪之上公民館、大和デパートと選定しました。

特定経路

バリアフリー化を実施する経路で、長岡駅と特定施設を結ぶ経路を1次経路、長岡駅と準特定施設を結ぶ経路を2次経路、補助的な経路を3次経路として設定しました。



長岡市交通バリアフリー基本構想重点整備地区の概要図